

組織開発委員会

1. 構成員
- | | |
|------|----------------------|
| 委員長 | 入子英隆 |
| 副委員長 | 齋藤龍一 |
| 委員 | 篠原 翔 中川翔子 細田陽平 塩脇亜由美 |

1. 予算額 未定

1. 運営方針

飯能青年会議所のメンバーは入会者よりも卒業者が多くなり減少傾向にあります。また、活動しているメンバーも固定化されてきており、活動的な会員とそうでない会員との経験の差が広がるのは明確です。一人ひとりが飯能青年会議所のなかで自らの役割を理解していないことは能動的な活動の妨げになり、飯能青年会議所の影響力や魅力が薄れ、さらなる会員の減少にもつながりかねません。現状を変えていくにはメンバーと向き合い、前向きに活動する組織が必要です。メンバーの意識を変えることが求められています。

先ず、JC 手帳を作成します。一方でデジタル化した JC 手帳もメンテナンスして継続します。飯能青年会議所のメンバー間のコミュニケーションを深める為、飲食を伴ったグループワークを交え、一人ひとりの異なる価値観や考え、思いを自ら伝え、自ら聞くことでメンバーを深く知ることができる機会を提供します。また、新入会員には青年会議所のことを知ってもらうことを目的とし、既存会員には青年会議所のことを再度認識し志を思い出してもらう機会も提供します。出向者の情報共有の為と新入会の情報を展開する為に内部報「548」を配信します。出向者の支援として、情報展開のサポートや参加が求められる事業への告知も行います。そして各委員会の横断的組織となることで委員会の状況や問題、課題を発信して解決につながるアイデアの創造や前向きな意見をメンバーが言える環境づくりをします。

1年を通して上記の行動計画を実行することで能動的に活動する経験を得ることができます。自分以外のメンバーを知ることで新たな価値観や考えに到達することができ、自分以外の他者へ良い影響を与えることが出来ます。また、委員会を横断することで委員会同士の結びつきも強まりメンバー間のコミュニケーションが向上します。能動的な活動とコミュニケーションの向上が飯能青年会議所へ良い影響を及ぼし、豊かで魅力あふれるまちになります。

1. 事業計画

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ①出向者支援 | ⑦例会3回(4月・6月・7月) |
| ②組織内のコミュニケーション創出 | ⑧総会資料の作成 |
| ③総会担当(新年通常総会・夏季総会・冬季総会) | ⑨JC手帳の作成 |
| ④飯能新緑ツーデーマーチへの参画 | ⑩内部報「548」の発行(年3回発行) |
| ⑤日本JC各種大会の出席準備及び手配 | ⑪JCルームの管理 |
| ⑥会員出席率の管理・優良出席者褒賞 | ⑫各種案内状・お礼状の手続き |